

言語活動の充実を図る国語科指導の実際⑦

－ I C T を活用した「共通語と方言」学習の工夫－

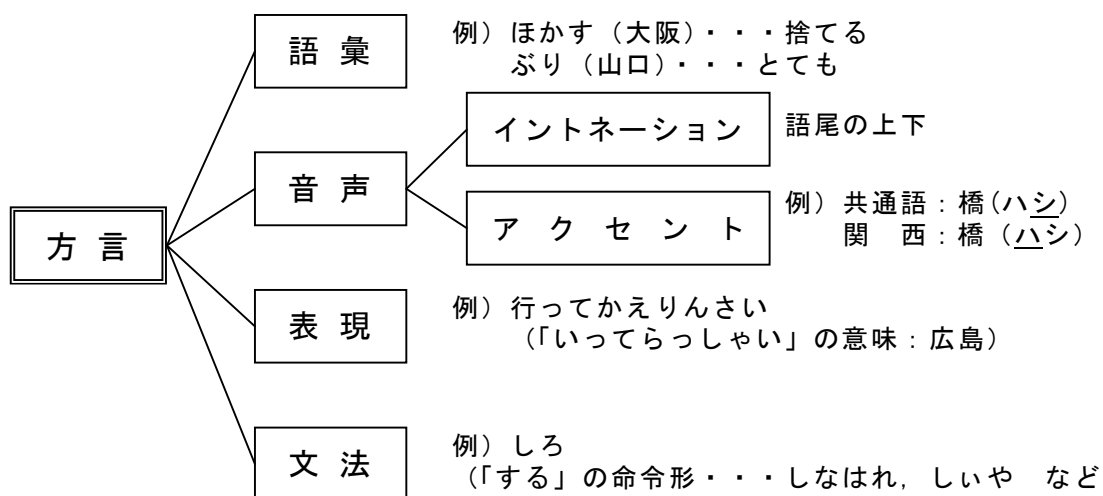
国語科学習では、音声言語の学習を行う際に、I C T を活用した学習を取り入れると効果的である。特に、小学校、中学校共に指導事項として示されている「共通語と方言」の学習では、I C T を活用した言語活動を取り入れることで、方言の特徴に気付くと共に、方言に親しみをもつなど学習効果が期待できる。

以下に、共通語と方言に関する考え方と、I C T を活用した学習のモデル例を紹介する。

1 共通語・方言の定義（新学習指導要領解説書による定義）

- (1) 共通語・・・地域を越えて通じる言葉
- (2) 方言・・・ある地域に限って使用される言葉

2 方言の要素



3 標準語と共通語

戦前から戦後にかけて、長年にわたって、方言に対しては標準語という言い方が用いられてきた。しかし、この呼称には、中央集権的な権威主義のニュアンスがきまとう。逆にいえば、方言は標準から外れた言葉ということになる。こうしたニュアンスを嫌って、近年では標準語に変わって共通語という呼称が一般的になった。

『国語教育指導用語辞典』（田近洵一・井上尚美 編）より

II 「共通語と方言」学習の学習指導要領における位置付け

1 現行学習指導要領と新学習指導要領の比較

	現行学習指導要領	新学習指導要領
小学校	第5・6学年 [言語事項] カ 言葉遣いに関する事項 (イ) <u>共通語と方言との違い</u> を理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。	第5・6学年 A <u>話すこと・聞くこと</u> ウ <u>共通語と方言との違い</u> を理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。
中学校	第2・3学年 [言語事項] (1) キ <u>共通語と方言の果たす役割</u> などについて理解するとともに、敬語についての理解を深め生活の中で使えるようにすること。	第2学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (ア) <u>話し言葉と書き言葉との違い</u> 、 <u>共通語と方言の果たす役割</u> 、敬語の働きなどについて理解すること。

【小学校における「共通語と方言」が「話すこと・聞くこと」に位置付けられた理由】

従前は〔言語事項〕に示していたが、話すこと・聞くことの実際の場面における重要性を考えて、「A 話すこと・聞くこと」に位置付けた。共通語と方言とを比較、対照させながら違いを理解し、それぞれの特徴とよさを知り、共通語を用いることが必要な場合を判断しながら話すことができるように指導することが大切である。

2 共通語と方言の役割

共通語を適切に使うことは、人々が相互の理解を進めるために不可欠な能力である。一方、方言は、生まれ育った地域の風土や文化とともに歴史的・社会的な伝統に裏付けられた言語である。その表現の豊かさと魅力など、方言が担っている役割を十分理解させ、方言を尊重する気持ちをもたせるようにしながら、共通語と方言とを時と場合などに応じて使い分けられるように指導することが大切である。

（「新中学校学習指導要領解説 国語編」）

3 考えられる学習活動

- (1) 共通語と方言の役割の違いについて考える。
- (2) 共通語と方言をどういった場面で使い分けることが効果的か考える。
- (3) 自分たちの住む地域の方言、地域による方言の違いについて調べる。
- (4) 音声言語としての特徴について考える。

Ⅲ プレゼンソフト（パワーポイント）を使った学習指導の工夫

1 なぜプレゼンソフト（パワーポイント）を使うのか

方言の要素である「音声」も考慮した学習が展開できる。

2 活用上の留意点

- (1) 方言学習のねらいを明確にし、効果的な活用を考える。
- (2) パソコン活用が目標ではないので、パソコン活用の荷重にならないように、学級全体・グループで役割分担する。
- (3) 作成したものは、後で活用できるように工夫する。

3 モデル例（本モデル例は中学校を対象として作成）

(1) 教材名 方言と共通語～種子島方言のデータベースを作ろう。

(2) 単元の目標

- ・ 方言と共通語について、それぞれの果たす役割や働き，場面や内容に応じた使い分けの必要性を理解させる。
- ・ 自分たちの言語生活について，方言と共通語という観点から見直させ，日本語に対する興味と関心を高めさせる。
- ・ 自分たちで集めた種子島の方言をデータベース化することで，方言に対する関心を高めるとともに，郷土を見直す機会にさせる。

(3) 指導計画（全3時間）

過程	学習活動の流れ	情報メディア	学習形態	指導上の留意点
とらえる 選ぶ	1 教材文を読み，学習課題を把握する。 ① みんなで集めた方言を班別に整理し，カードに記入する。 ② 方言を使った寸劇のシナリオを作成する。		一斉 班別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方言集めは，事前に行わせておく。 ・ 寸劇は，一人二つ以内のセリフで作らせる。
判断する 整理する	2 データベースを作成する準備をする。 ① 前時に作った寸劇を発表する。 ② 集めた方言をグループに分類する。 ③ コンピュータに入力する。	パソコン	班別 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータの操作が苦手な子どもについては，個別指導を行ったり，得意な子どもとペアでさせたりするなどの手立てをとる。
まとめる 表現する	3 作成したデータベースを発表し合う。 ① 班別に作成したデータベースをお互いで鑑賞し合う。 ② 本単元で気付いたことをまとめる。	パソコン	班別 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・ お互いの作品の良さを認め合い，また，今後も方言を大切にしていこうとする意欲を育てたい。

(4) 本時の実際（2 / 3 時間）集めてきた方言を分類し、データベース化しよう。

ア 目標

- ・ 郷土の方言に興味を持ち、班で協力して、方言の学習に取り組むことができる。
- ・ 方言を使って簡単な劇を発表することができる。
- ・ 集めた方言を五つのグループに分類することができる。
- ・ 分類した方言をコンピュータに入力することができる。

イ 実際

過程	学習活動	時間	形態	指導上の留意点
導入	1 本時の学習課題を確認する。	2	一斉	・ 学習課題を明確にするため、また、パソコンに興味を持たせるため、プレゼンテーションソフトで課題提示を行う。
	2 自分たちが調べてきた方言を使って、寸劇を発表する。	8	班別	・ 初めての体験であるため、出来不出来よりも、発表そのものを誉めてあげたい。
展開	3 調べてきた方言を分類する。 ア 物や人の名前を表す方言（名詞・代名詞） イ 動作を表す方言（動詞） ウ ものの様子や状態を表す方言（形容詞・形容動詞・副詞） エ 呼びかけ、応答、感動などを表す方言（感動詞） オ その他の方言	15	班別	・ 班毎に、大まかに分類させたあと、どのグループに入れるか迷ったものを全員で検討する。 ・ 文法の学習ではないので、あまり文法上の細かいことにこだわらず、方言の面白さを味わわせたい。
	4 分類した方言をコンピュータに入力し、データベース化する。 ・ 表紙→言葉→意味の三段階構成で作成する。	20	班別	・ パソコン入力は個人差があるので、個別指導や生徒同士の教えないなどを工夫する。
	5 調べて分かったことをワークシートに記入し、発表する。	5	一斉	・ 本時間の学習を終えて感じたことを発表する。
終末				

4 パワーポイントを活用した方言データベースの作り方

(1) パワーポイントでスライド画面を作る。

種子島弁 名詞編

バキー 意味 奥さん
例文) わーげーのばきーはべっぴんやの。
→あなたの家の奥さんはきれいだね。

おぜ 意味 あなた・キミ
例文) おぜは何年生？
→あなたは何年生？

ども 意味 自分・自分たち
例文) どもなんか、一度ころびかけたろー
→僕は、一度ころびかけたよ！

クリックすると、音声が出る

アニメーションの設定で、クイズ形式にすることもできる

(2) サウンドレコーダーを使って音声を録音する。

＝使用ソフト：サウンドレコーダー＝

サウンドレコーダーは、マイクロソフト社の Windows に標準装備されているソフトで、サウンドの録音、ミキシング、再生、および編集を行うことができます。別のドキュメントにサウンドをリンクしたり、挿入したりすることもできます。圧縮されていないサウンドファイルであれば、次のような変更を行うことができます。

- ・ サウンドファイルにサウンドを追加する
- ・ サウンドファイルの一部を削除する
- ・ 再生速度を変更する
- ・ 再生する音量を変更する
- ・ 逆方向に再生する
- ・ サウンドファイルの種類を変更または変換する
- ・ エコーをかける

ア サウンドレコーダーを起動する。

「スタート」－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「エンターテインメント」－「サウンドレコーダー」の順にクリックし起動する。



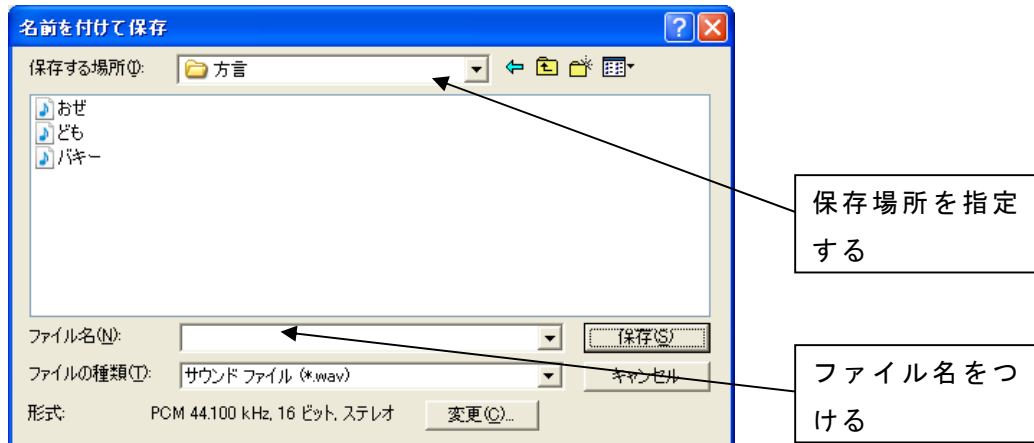
イ パソコンのマイク位置を確認し、録音を開始する。

「録音開始ボタン」－（録音終了）－「録音停止ボタン」

* マイクは内臓のものでもよいが、別のマイクをパソコンにつないで録音する方が、録音しやすいし、音質もよい。

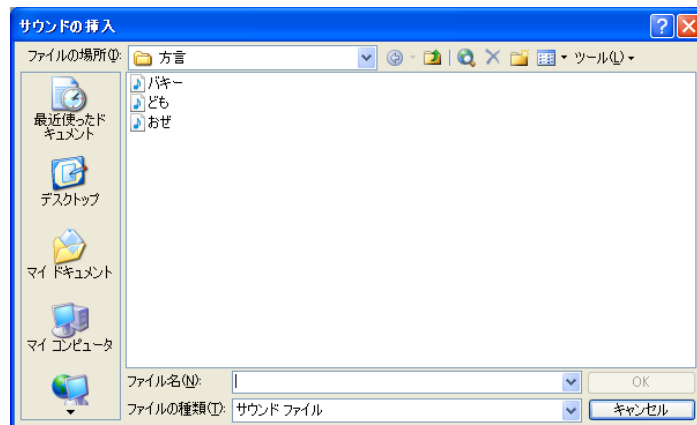
ウ 録音した音声を保存する。

「ファイル」－「名前を付けて保存」で保存する。

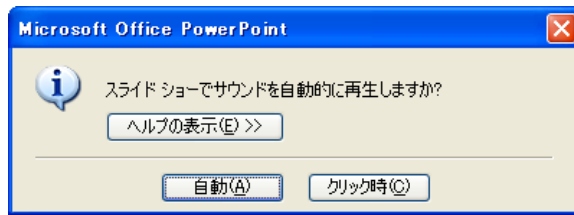


エ 録音したファイルをスライド画面に貼り付ける

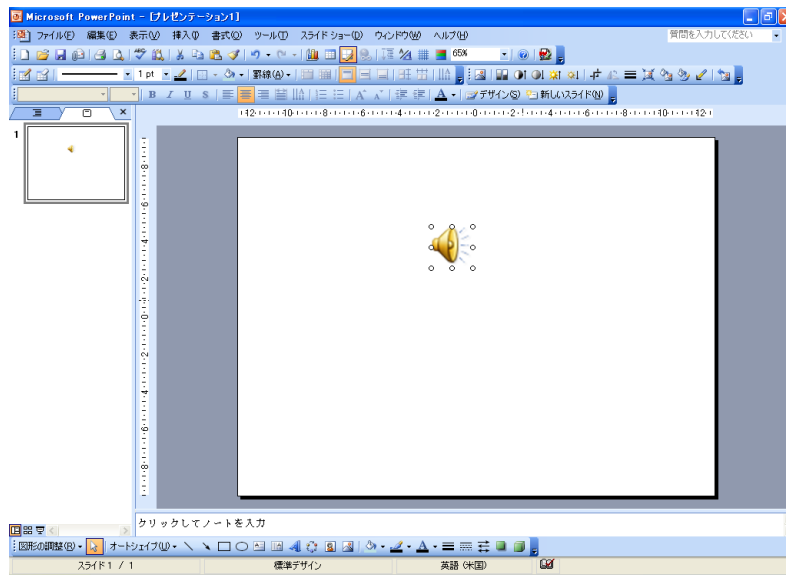
- ① 「挿入」－「ビデオとサウンド」－「ファイルからサウンド」を選択する。
- ② 貼り付けたいファイルを指定し、「OK」をクリックする。



③ すると、次のような画面が出てくるので、「クリック時」をクリックする。

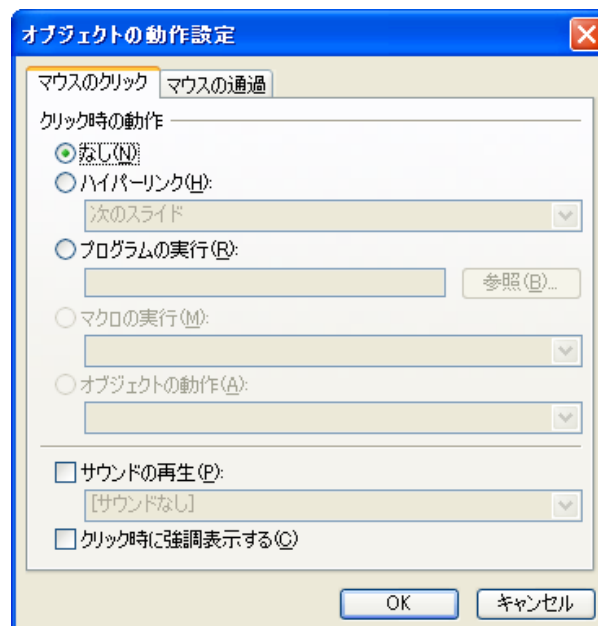


④ すると、画面にサウンドアイコンが表示され、スライドショーにして、クリックする音声流れる。

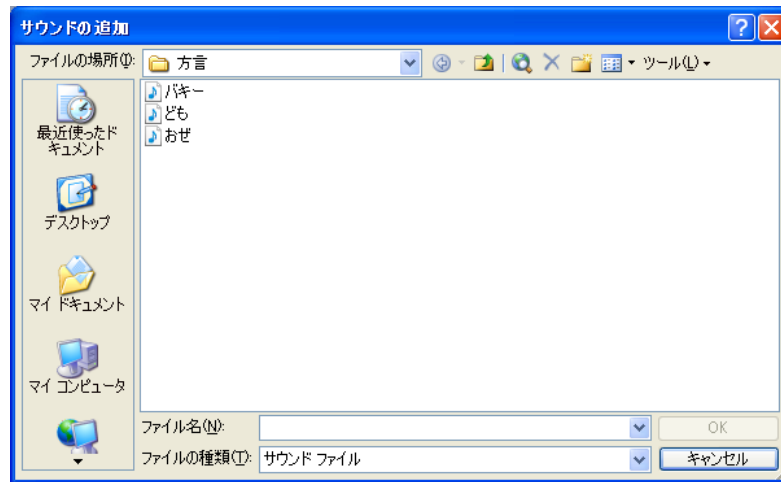


【自分の指定したアイコンに貼り付ける場合】

- 1 スライド画面に貼り付けた、アイコンを右クリックし、「オブジェクトの動作設定」を選択する。



- 2 「サウンドの再生」にチェックを入れ，その下の「サウンドなし」の表示のある欄から，「その他のサウンド」を選択する。
- 3 すると，下のような画面が出てくるので，ファイルを指定して「OK」をクリックする。



【方言学習に活用できるホームページ】

- 1 ふるさとの方言 <http://nlp.nagaokaut.ac.jp/hougen/>
- 2 方言と共通語 <http://www.ale-net.com/hpcs/koku/hougen/>
- 3 全国方言 Web <http://hougen.atok.com/>
- 4 方言の宇宙 http://www2.kokken.go.jp/~takoni/index_j.htm
- 5 方言と共通語 <http://d-tano.axisz.jp/hougen/index.htm>
- 6 鹿児島方言辞典 <http://www.geocities.jp/rtymg285/>
- 7 鹿児島の方言集 <http://www.osumi.or.jp/sakata/hougen/hotitle1.htm>

* 本資料に記載されている会社名，製品名などは各社の登録商標または商標です。